

参議院議員

吉良よし子

痛みによりその声をとどける。



6年前、国会に送っていただき、皆さんの声を国会に届ける活動に取り組んできました。

しかし、安倍政権は国民の声によりそおうとしていません。「まじめに働く人の命を守って」という過労死遺族の切実な訴え、辺野古の海への土砂投入中止を求める沖縄県民、「セリハラを禁止して」という被害者など、まったく無視してきました。

この政治を変えて、希望ある未来をひらく、新しい政治をつくります。

吉良よし子

プロフィール

1982年高知県生まれ、高知追手前高校、早稲田大学第一文学部卒。現在、文教科学委員、決算委員、憲法審査会委員。日本共産党中央委員、書記局員。家族は夫と息子。趣味は読書、映画鑑賞、観劇など。

ロスジェネ・就職氷河期世代

就活は60社にエントリーし内定したのは1社。面接官に「女性を採るのはリスク」と言われ悔しい思いもした。さらにリーマンショックで同世代が派遣切りにあうのを見かね、一人ひとりの苦しみや困難を取り除く政治こそ実現したいと政治の道を志しました。

30歳で参議院議員に

2013年7月参議院選挙で東京選挙区から初当選。選挙で訴えた「ブラック企業ゼロ」「原発なくせ」「憲法を守る」を6年間の議員活動の大事なテーマにしてきました。学費・奨学金や高すぎる国保など、苦しんでいる人の声を直接政治に届け、政治を一步でも前に動かすためにがんばっています。

政治を動かす

ブラック企業名公表を実現



ブラック企業ゼロをめざす吉良よし子は、2015年2月の参議院決算委員会で安倍首相と論戦。労働法違反をくりかえす企業名をあげて、「悪質な企業の社名公表」をせまり、実現しました。厚生労働省ホームページには414社が公表されています。(2019年4月30日現在)

社名公表の恐れから裁量労働制廃止と報道
ブラックな働き方を変えるかに



苦しみ、実態をしめし
安倍首相に迫る

実態の告発

高学費、奨学金返済の苦しみ

2019年3月の参議院予算委員会で安倍首相に「利子付奨学金を借りて卒業後に数百万円の返済に苦しむ」「仕送りが減って生活費をまかなうアルバイトで学業を圧迫」と若者の実態を告発、救済措置をもとめました。この質問はテレビ中継され、大きな反響をよびました。

反響!

テレビ中継された私の国会質問に大きな反響をいただきました



自民党員の私から見ても鋭い質疑でした。私も奨学金を返済中ですが、実情を捉えたレベルの高い討論だったと思います。



TVで拝聴しながら、私も肩に力が入ってまいりました。我が家も息子への仕送りが2016年平均を下回ってます。

Facebook吉良よし子事務所 2019年3月投稿へのコメントより



あなたの
声がとどく
政治へ

参議院議員 東京選出

吉良よし子



これからも **一緒に**
取り組んでいきます

“ブラック”な働かせ方ゼロ さらに前へ

過労死をなくす

残業時間は月45時間、年360時間を上限に、11時間以上の休息时间（勤務間インターバル）の確保を。

ブラック企業根絶法案の実現

「サービス残業させたら残業代は2倍」制度など労働法違反企業に厳しい罰則。

最低賃金1500円に引き上げ 非正規の正規雇用化

セクハラ、パワハラ、差別の禁止



新国立競技場・工事現場

作業員の過労死原因となった現場を日本共産党の議員団で視察

10%増税中止

消費税10%は 延期でなく中止

消費税に頼らない 経済にかえる

大企業に中小企業なみの法人税負担で4兆円、富裕層も欧米なみの負担で3兆円の財源に。富裕層、大企業の能力に応じた負担によって消費税廃止の道が開けます。



十条銀座商店街

志位和夫・党委員長と十条銀座商店街で要望を聞く

武器の爆買い、軍事費の拡大ストップ 国民生活を支える税金の使い方に

学費・奨学金を 将来の足かせにしない

学費無償化をめざす 当面は高学費の値下げをおこなう

70万人に 月3万円の給付制奨学金、 無利子奨学金を拡充する



学生の皆さんと懇談

奨学金返済に苦しむ若者に 利子分の免除、返済猶予を広げる



自分らしく生きられる 平和な未来を

原発ゼロの日本に

子どもの人権をまもる

虐待、体罰を許さず、「ブラック校則」をなくします。

憲法いかし

性差別・民族差別をゆるさない
個性と多様性がいきる社会へ



子育て真っ最中。待機児解消にも全力！

改憲NO

9条いかした外交で東アジアに平和の流れを

辺野古新基地建設中止、オスプレイ配備は許さない

若い世代・東京の代表として

子どもの医療保険証をとりあげるな

高い国保料のため全加入世帯の15%が滞納に。「(滞納を理由にした)子どもの保険証は取り上げるな」と安倍首相に強く求めました。

ブラック校則を許さない

「下着の色をチェックする」など人権無視のブラック校則を国会で取り上げ、文科大臣は「理不尽な校則は見直すべき」と答弁。女子高生の保護者から「よく取り上げてくれた」と感謝されました。



羽田空港の新ルート 低空飛行問題を調査

国会で「落下物はなくなる」と追及



横田基地への オスプレイ配備で 現地調査



東京では、私たちが
再びがんばります！

吉良
よし子
参議院議員
(東京選挙区)



小池晃

党書記局長
参議院議員
(比例代表)



比例代表は 日本共産党